



危険

- 本製品は高電圧を発生させますのでHID点灯時、点灯直後にバラスト・イグナイター・バルブ・コード類には絶対に触らないでください。感電により、人命にかかわる重大事故につながる危険性があります。またバラスト、バルブ間のハーネスの加工は絶対に行わないでください。
- 紙や布でおおったり、ガソリン、シンナーなど引火する危険性のある物の近くで点灯しないでください。火災や爆発の原因となります。
- 定期的に取り付け、接続状況の確認を行ってください。脱落などにより車輻火災の原因となります。
- 取付け前に商品の状態を点検・点灯確認を行ってください。商品に破損があった場合は、直ちに作業を中止してください。
- 取付けの際は、バッテリーのマイナスターミナルを外し、ヘッドライトのスイッチをOFFにしてください。バッテリーへの接続は全てのコネクタを接続してから行ってください。バッテリーのマイナスターミナルを取付け、ナビ・ラジオ・パワーウィンドウ・サンルーフ・ステアリングポジションなどを再メモリーしてください。



警告

- 点灯中の光を直視しないでください。視力障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後のバルブに手や肌を触れないでください。大変高温になっているため火傷の原因となります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。高電圧スパーク、絶縁不良など製品の故障や車輻火災の原因となります。



注意

- バルブを落としたり、無理な力を加えないでください。破損や性能の低下の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急激な温度変化により、バルブやレンズの破損の原因となります。
- 本製品は精密な電子機器です。落としたり配線を引っ張ったりしないでください。
- 本製品はHID起動時に15A程度が必要となります。車両ヘッドライトヒューズが15A未満の場合、15A以上(最大20A)のヒューズに交換してください。
- 他社製品との併用によるトラブルは、原因の内容に関わらず一切保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 点灯/消灯の繰り返しを頻繁に行わないでください。寿命が短くなったり、不点灯の原因となります。

本商品はアフターパーツです。不具合発生時にお取付け前の状態に戻せるよう、お取付けの際に外された部品は、必ず保管しておいて下さい。当店へご連絡の際は、必ずお取付け前の状態に復帰された状態でご連絡下さい。

《使用上のご注意》

◎点灯/消灯を頻繁に行わないでください。

点灯/消灯を繰り返すとバラストの安全装置が働き、バルブが点灯しないことがあります。
この症状が出た場合、数秒間おいてから再点灯を行ってください。

◎一部の車輻において、ハイビーム時にメータパネル内のハイビームインジケーターが不点灯になる場合があります。

純正バルブを取り外すことにより、車輻側の仕組みが変わる為、点灯しくなくなります。
その場合、専用のキャンセラーを使用して、対策を行ってください。(ごく稀に配線加工が必要な車種もあります。)

◎車輻によっては、他の電子機器に影響を及ぼす可能性があります。

HIDシステムの特性により、装着することで車輻側の電装品に影響を及ぼす場合がありますので、予めご承知ください。

例】カーオーディオからノイズが発生する、コーナーセンサーの誤作動、球切れ警告灯の表示または警告音が鳴る、
車輻側コンピューターの誤作動や故障など、これらの状況が起こった場合は、専門店にご相談ください

◎車輻によっては、照射光に影や反射等が出る場合があります。Waku-Waku!

HIDバルブ、又は、ライトユニットの構造やデザイン(固有の特性)からなる影響により、照射光に影や反射が出る場合があります。
予めご了承下さい。

◎下記の症状は、HID特有の症状によるもので製品不良ではありません。

- 1.HIDバルブは、システムの特性により、点灯直後に色と光が変化します。この変化は、約30秒ほどで徐々に安定してきます。
- 2.左右のバルブの点灯タイミングが多少異なる場合があります。
- 3.バルブの個体差により、左右の色が異なる場合があります。

◎下記の症状は、車輻側電圧の影響を受けて発生するもので製品不良ではありません。

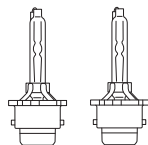
- 1.オートライト機能作動時に点灯しない場合があります。
- 2.アイドリングストップのエンジン再始動時に消灯してしまう場合があります。

◎定期的に取り付けや接続の点検を行ってください。

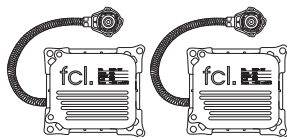
取付けや接続が不完全な状態では、作動不良や不調が発生し、製品の故障原因にもなります。
例えば、取付け方により、カプラー内に水分が混入した場合、接触不良を起こし、点灯不良の原因になります。
また、バルブの固定がきちんとされておらず(特にH4HL)、バルブ本体に脱落等が起こった場合、車輻火災の原因となりますので、
定期的なメンテナンスや点検をおすすめします。

《 純正型バラストタイプ HIDパワーアップキット 》

構成部品



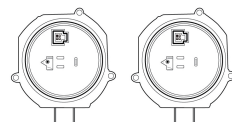
バルブ × 2個



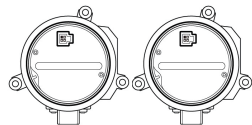
バラスト TypeA × 2個



バラスト TypeB × 2個



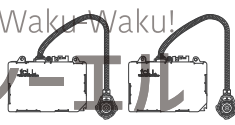
バラスト TypeC × 2個



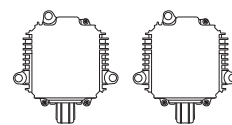
バラスト TypeD × 2個



バラスト TypeE × 2個



バラスト TypeF × 2個



バラスト TypeG × 2個

※ TypeC/TypeD/TypeE/TypeG にはバラスト・バルブ間の配線は付属いたしません。純正配線をご使用ください。

HIDバルブ点灯チェック要領

- ① 車輻からヘッドライトユニットを取り外し純正 HID バラストに接続されている電源線も取り外します。
- ② バルブ・バラストを接続します。
- ③ 車輻側電源線をバラストと接続し点灯を確認します。
- ④ 点灯を確認できれば点灯テストは終了となります。

純正型バラストタイプ HID パワーアップキットの取り付け手順と要領

《 電源の遮断 》

①

バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。

バッテリーのマイナス端子を取り外すとラジオ・サンルーフ・パワーウィンドウなどのメモリーが消える場合があります。端子を外す前に記録を残してください。また、作業終了後に必ず元の状態に復帰してください。



《 ヘッドライトの脱着とバルブの取り付け 》

②

取り付け作業を容易にするため、車輛によってはヘッドライトASSYを取り外してください。

※取り外し方法は各車輛の整備解説書をご参照ください。Waku-Waku!

純正バルブを取り外し、キットに付属のバルブをヘッドライトユニットに固定します。



《 純正バラストの取り外し 》

③

ヘッドライトユニットから純正バラスト固定用ネジを取り外し、純正バラストを取り外してください。

純正のバラスト等、取り外した部品は大切に保管してください。

商品の不具合等で返送していただくときに代替として必要になります。



《 純正型パワーアップバラストの取り付け 》

④

純正バラストから取り外した電源コネクタを純正型パワーアップバラストへ接続してください。

※しっかり接続しないと接触不良により不点灯等の症状が出ることがあります。装着前に点灯確認を実施してください。

純正のパッキンを使用してヘッドライトに純正型パワーアップバラストを装着してください。

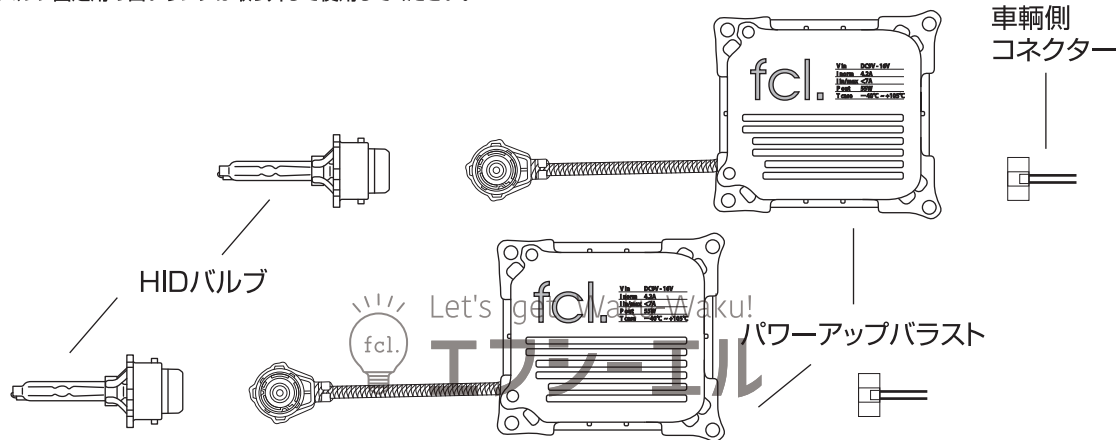
※純正のパッキンを使用しないと水分が混入する可能性があります。

《 純正型バラストタイプ A/B/F HIDパワーアップキット取付配線図 》

※取り付けの際は純正のネジ・防水ゴム・防水パッキンを使用してください。水分が侵入する可能性があります。

※取り付ける車両によっては、ヘッドライトユニットの取り外し、バンパーの取り外しなどの作業が発生します。

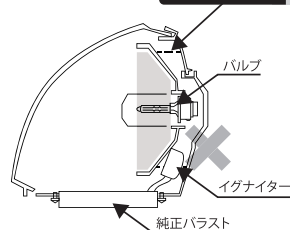
※HIDバルブ固定用の白いリングは取り外して使用してください。



イグナイター部が干渉し取り外せない場合 (Type A/F)

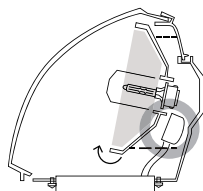
光軸調節用ネジ

ネジを締める(緩める)ことで、リフレクターが動きます。



調整前

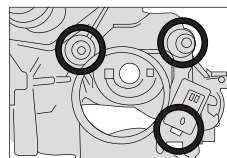
イグナイターが干渉して通らない状態



調整後

光軸の角度を調整することで、イグナイターが通るスペースが確保される。

ヘッドライトを後方から見た図



光軸調節用ネジ

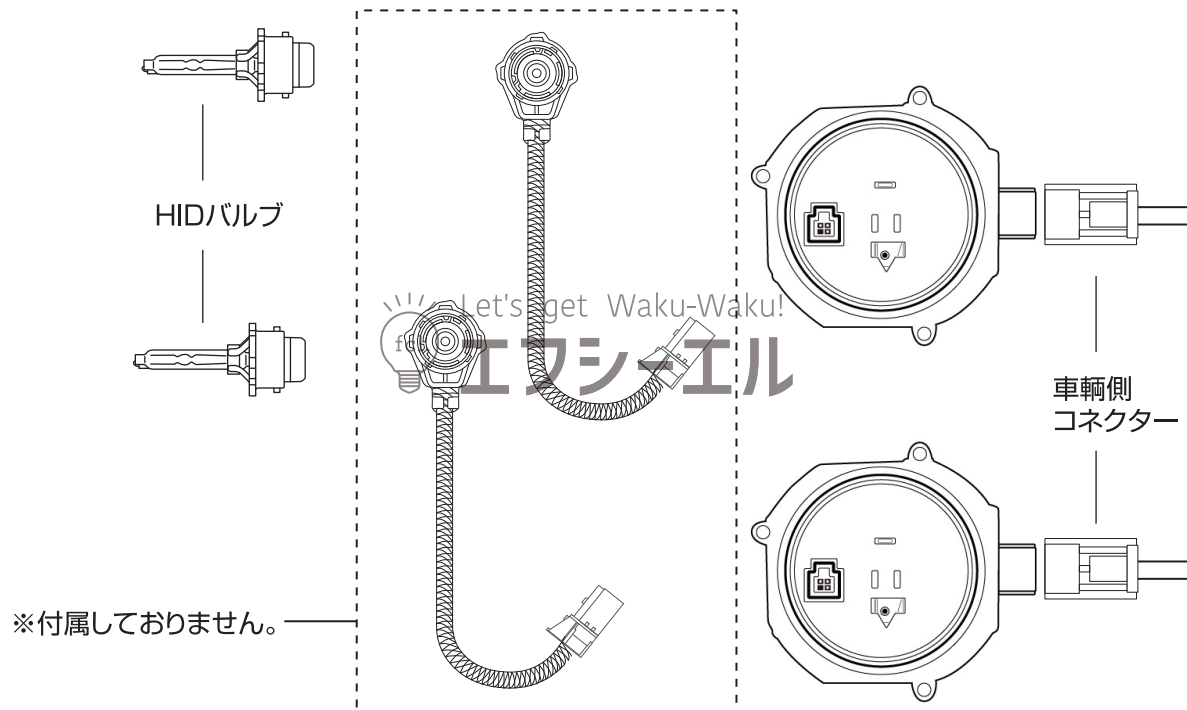
丸で囲った箇所の各ネジを締める(緩める)などしてスペースを確保してください。

《 純正型バラストタイプ C/D/E/G HID パワーアップキット取付配線図 》

※取り付けの際は純正のネジ・防水ゴム・防水パッキンを使用してください。水分が侵入する可能性があります。

※取り付ける車輛によっては、ヘッドライトユニットの取り外し、バンパーの取り外しなどの作業が発生します。

※HIDバルブ固定用の白いリングは取り外して使用してください。

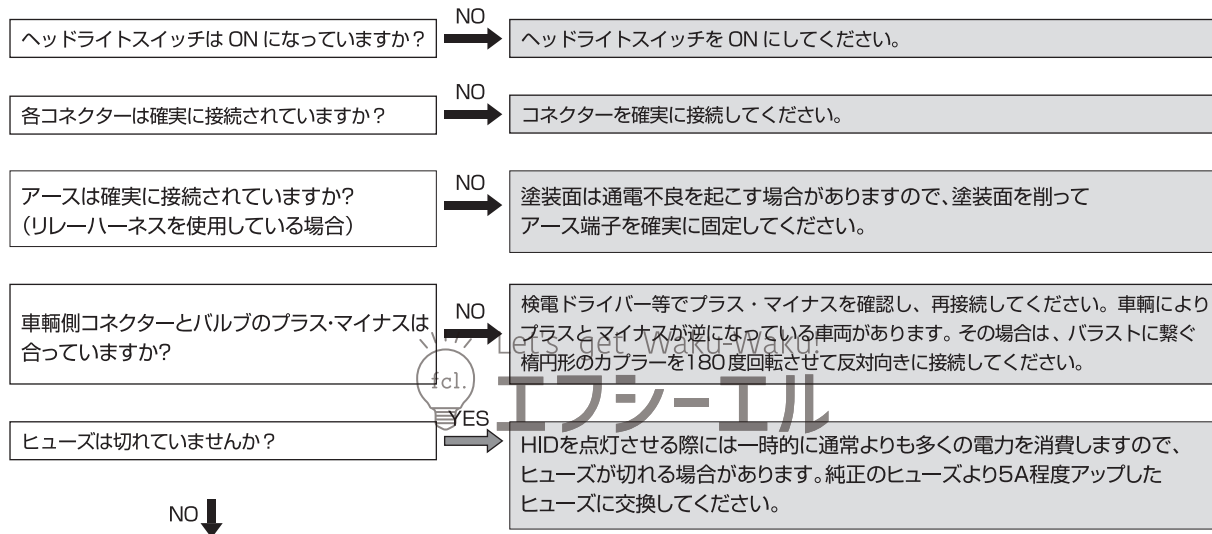


TypeC/D/E/Gの場合

バラスト・バルブ間の純正配線を使用します。純正バラストより取り外し本商品に取り付けてください

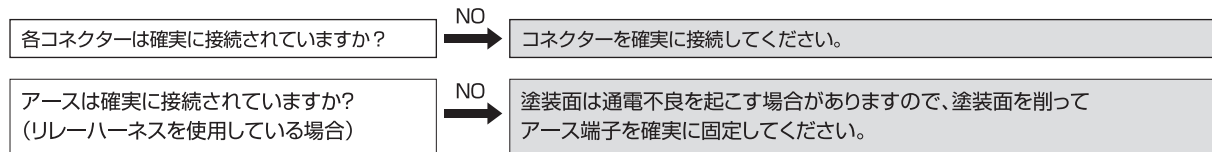
トラブルシューティング

【全く点灯しない】



HIDシステムに異常が発生していますので取付店で点検していただくか、販売店までご連絡ください。

【片側が点灯しない】



本説明書の4ページのHIDバルブ点灯チェック要領に沿って点灯確認を行ってください。正常に点灯しますか?

YES
→

車両側コネクタからの電圧・電流不足の可能性があります。
リレーハーネスを使用しバッテリーから電源を取ってください。

NO
↓

左右のバルブ、バラストを入れ替えてください。

→

左右のバルブを入れ替えて症状が移動した場合、片側バルブの不具合の可能性あります。販売店までご連絡ください。

→

左右のバラストを入れ替えて症状が移動した場合、片側バラストの不具合の可能性あります。販売店までご連絡ください。

【点灯中に左右の光がチラつく、またはフラッシング(点滅)する】



Let's get Waku-Waku!

3回点滅し、その後消灯する。

YES
→

車両側電流不足によるリトライ機能です。リレーハーネスを取り付ける等、
通電の改善を行ってください。

アースは確実に接続されていますか?
(リレーハーネスを使用している場合)

NO
→

塗装面は通電不良を起こす場合がありますので、塗装面を削っていただき
アース端子を確実に固定してください。

本説明書の4ページのHIDバルブ点灯チェック要領に沿って点灯確認を行ってください。正常に点灯しますか?

YES
→

車両側コネクタからの電圧・電流不足の可能性があります。リレーハーネス
を使用しバッテリーから電源を取ってください。

NO
↓

左右のバルブ、バラストを入れ替えてください。

→

左右のバルブを入れ替えて症状が移動した場合、片側バルブの不具合の可能性あります。販売店までご連絡ください。

→

左右のバラストを入れ替えて症状が移動した場合、片側バラストの不具合の可能性あります。販売店までご連絡ください。

【点灯したままになる】

リレーハーネスの損傷、または不具合の可能性があります。



リレーハーネスを交換してください。
また、接点を強化し、確実に固定してください。

【その他】

ライトユニットに水が浸入する。



僅かな隙間から水が浸入する場合がありますので、HIDバルブや防水ゴム
キャップの全周にシリコン剤やシール剤などを塗布し、防水処理を行ってください。

HIDバルブの発光管付近(ガラス管内側)に
汚れのようなものが付着している。



HIDバルブの発光管には数種の金属ハロゲン化物(メタルハライド)が封入
されており、発光管の内部で蒸発して発光します。一部の物質は蒸発しきれず
発光管の内部に付着する場合がありますが、HIDの特性であり異常では
ございませんので、ご安心ください。



Let's get a new one!
エプソール

ラジオ、オーディオ、バックカメラ等の電子機
器にノイズが発生する。



HIDは高電圧を発生させるため、それによって電子機器にノイズが発生したり、
電波干渉が発生することがありますが、これはHIDの特性であり異常では
ございません。バラストを電子機器の配線からできるだけ離して設置し、
配線をアルミテープ、シールドメッシュで遮るなどの対策を行ってください。

オートライト、コーナーセンサー、クリアラン
スセンサー等が正しく作動しない。



H4 Hi/Lo リレー付&リレーレスタイプ

【Hi/Loの切り替えができない】

Hi/Loを切り替えた時に、バルブのガラス管
は前後にスライドしていますか？



リレーハーネス、リレーレスユニットまたはHIDバルブのスライド機構の
不具合の可能性があります。販売店までご連絡ください。